

やさいレポート (令和5年10月号)



キャベツ



発行日：令和5年10月6日

1. 卸売価格の動向

○112 円/kg (10月3日)

➢ 平年比：126%

○10月の価格見通し

平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○148 円/kg (9月全国平均)

➢ 前月比：97%、平年比：96%

➢ 東京：210 円 (1玉)

➢ 大阪：211 円 (1玉)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：6/20 (前月 10/20)

➢ 大阪：5/10 (前月 5/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○504 g/人 (8月全国平均)

➢ 前月比：110%

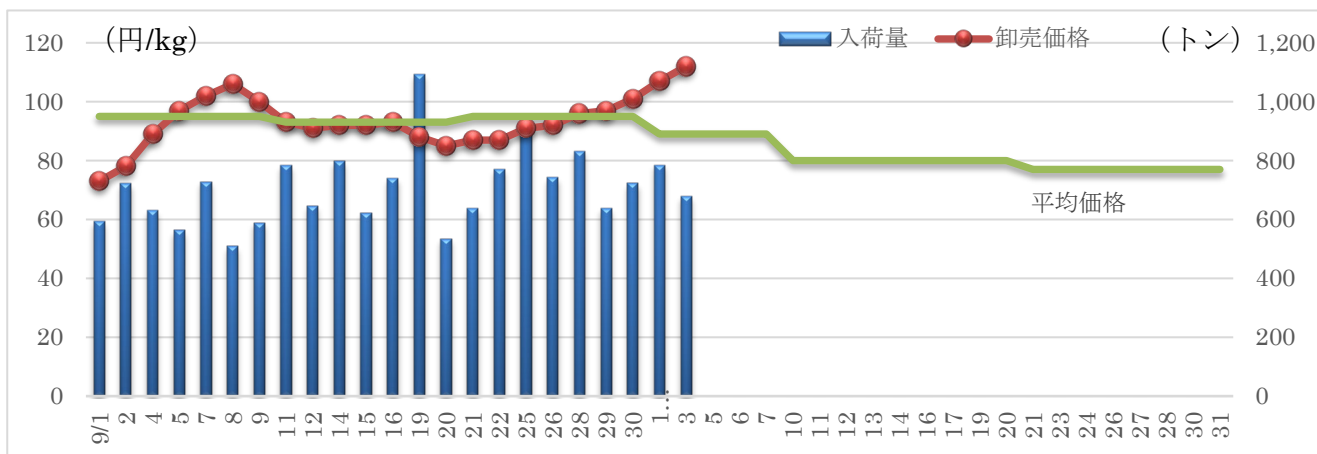
➢ 前年同月比：102%

○5,856 g/人 (2022 年年間)

➢ 前年比：92%

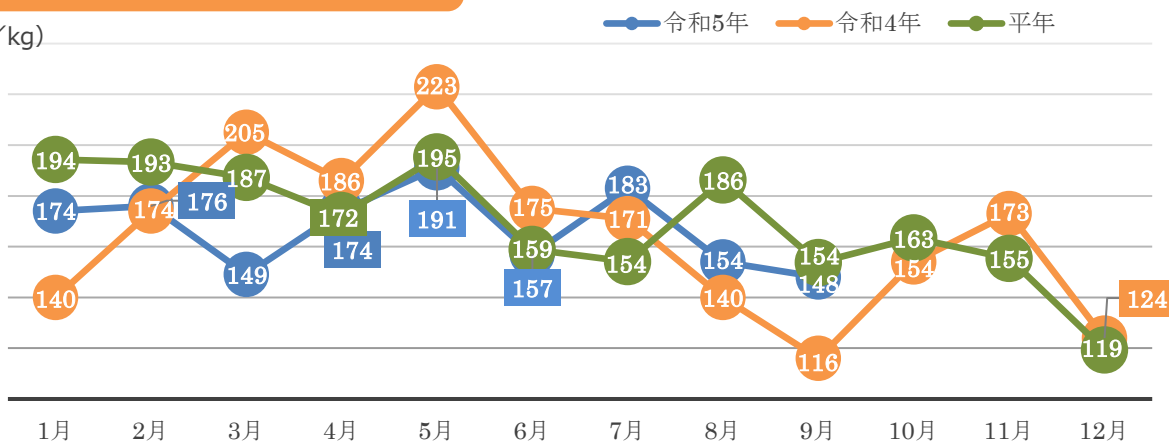
(総務省統計局家計調査)

4. キャベツの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



5. キャベツの小売価格の推移

(円/kg)



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道南幌町 (8/31)	減少	不良	やや遅い	遅い
岩手県いわて (8/25)	前年並み	やや良	早い	前年並み
群馬県嬭恋村 (9/26)	前年並み	前年並み	前年並み	前年並み
長野県南佐久 (9/12)	前年並み	前年並み	前年並み	前年並み

※特記ない場合は前年比。()内は調査日。

(機構調べ)



長野県南佐久：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (10/07~11/03)

		週別の天候		
10/07~10/13		北・東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わって来よう。		
10/14~10/20		北・東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わり、前年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
10/21~11/03		北・東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わり、前年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み
	太平洋側	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み
東日本	日本海側	低20 並40 高40% 前年並みか高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み
	太平洋側	低20 並40 高40% 前年並みか高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み
西日本	日本海側	低20 並40 高40% 前年並みか高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み
	太平洋側	低20 並40 高40% 前年並みか高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ前年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

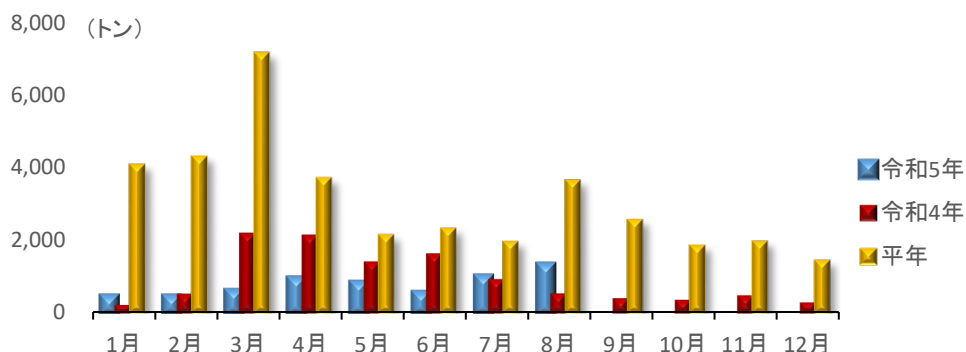
8. 輸入動向 (生鮮キャベツ)

○1,276トン (8月輸入量)

➢ 前年同月比：264%

○輸入先国ベスト3

全量中国からの輸入
(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

9月は、群馬産の準高冷地は生育、結球が進んだことで入荷最盛期となった中、長野産や岩手産が高温干ばつで結球、肥大が鈍化したことから市場入荷量が伸びず、前年を下回っていた価格は中旬に向かって続伸し、その後はほぼ前年並みとなりました。

10月は、群馬産の準高冷地が生育前進で収穫終盤に入るものの、大玉傾向で入荷量が多くなる中、後続の茨城産、千葉産が定植期の高温干ばつ傾向で生育が遅れていることから入荷量が伸びないことで、市場入荷量の大幅な伸びはなく、価格は前年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793